

【別紙様式 I】 令和4年度 学校評価報告書

学校名 上荻野小学校学校

厚木市教育委員会の基本目標

- 1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】
- 2 自他の命や豊かな感性を大切に、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】
- 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】

校長名 清水 良

学校教育目標		学校経営の方針		
自ら学びを拓き しなやかな心と体で 共に生きる社会を創ろうとするの育成		○探求し表現する力の育成 ○自立した集団の形成 ○安心・安全の保障と健やかな心身の育成 ○家庭と地域との創造的な連携		
今年度の重点目標				
○自ら学びに向かう姿勢を養い、学力の充実を図る ○自分も他人も大切にしようとする態度の育成 ○健康で安全な生活を自主的に実践する態度の育成				
評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
学校は分かりやすい授業や基礎学力の向上に努めている	1	GIGAスクール構想に向けての環境整備と実践の充実を図る。	授業活用に向けての職員研修を行い、様々な学習場面でICT機器を使用し、効果的な活用に取り組んだ。	環境整備を進め、ICT機器を活用し一斉学習、個別学習、協働学習をさらに推進していく。
自己調整学習に取り組んでいる	1・3	予見・遂行コントロール・自己省察の確立を図る。	生活場面と関連付けて学習課題を考えさせ、児童相互の意見交流を通して、学習を振り返り、次時の課題につなげた。	自主的な学習を促すようなアイデアを伝え、補充の問題を効果的に使い、学校で学習したことを家庭でも振り返られるようにする。
学校は、学校だよりやホームページ等で分かりやすく情報発信している	1・2・3	学校だよりでは、各学年の行事、学校運営協議会の意見などを掲載し、ホームページでは、宿泊行事等について、リアルタイムで情報発信する。	保護者アンケートの「学校は、学校だよりや各種たより、ホームページ等でわかりやすく情報発信しているか」の問いに対して、94%が「とてもそう思う」「そう思う」と回答している。	児童の活動はもとより、職員の頑張りも積極的に発信し、学校運営協議会での基礎資料としても活用し、地域とともに創る学校という側面も広めていきたい。
学校は、いじめの未然防止や早期発見・解決に努めている	2	生活アンケート、児童教育相談、月2回児童指導連絡会を実施し、校内のケース会議を必要に応じて実施する。	生活アンケートは丁寧に読み取り、いじめと認知したものは組織的に対応した。児童指導連絡会で情報交換を行い迅速な対応を心がけることができた。	集団において安心して自己を表出し、楽しく学校生活を送ることができるような学級活動の取組を実施していく。児童指導の記録を丁寧に残していく。
今年度の学校関係者評価委員会からの意見				
コロナ禍が収束し、学校と地域が再び交流できる機会が増えることを期待するとのご意見をいただいた。また、いじめの早期発見につながる取組やいじめや問題行動が起きた時などの組織的に対応について、児童が安心して学校生活を送れるように生活アンケートなどを丁寧に見取ることが大切であるとのご意見をいただいた。				
今年度の学校経営のまとめ・次年度への改善の方針				
感染症対策をとりながら、その時々状況に合わせて教育課程を再編成し、知恵を出し合いながら今できること、すべきことに誠実に教育活動を行った。コミュニティスクールとして、学校運営協議会における学校運営協議会委員同士の繋がりがや輪の広がりによって実現できたことの多い一年であった。今後も、地域や保護者と協力しつつ、お願いできる部分はお願ひし、業務のスリム化とともに、共に歩む学校を目指したい。				